

CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市浦和区常盤九丁目計画	階数	地上15F
建設地	埼玉県さいたま市浦和区常盤9丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	168人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2018年11月 0.0	評価の実施日	2018年1月4日
敷地面積	1,286 m ²	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	424 m ²	確認日	2018年1月4日
延床面積	4,845 m ²	確認者	長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 74%

③上記+②以外の: 74%

④上記+: 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.1
温熱環境	2.7
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	4.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・二重壁よりD r値50を目標値として設定。 ・カーテン及びバルコニー底の組合せで昼光制御。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	・性能表示基準劣化対策等級3を取得。 ・ビニルクロス貼耐用年数20年。 ・住居部分の基準階天井高2.9m以上3.0未満。	建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、LED照明を採用。	二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	駐輪場200%以上を確保し周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される